

り	ぷ	ろ	Vol.5
に	ゅ	う	す

編集・発行  
〒980-0021  
仙台市青葉区中央4-7-25 ライオンズMS1005号  
「リプロヘルス・ネットワーク」事務局  
TEL.FAX 022-227-0052

## CONTENTS

- 21世紀へのメッセージ
- 2000年の活動を振り返って
- リプロ掲示板

「リプロヘルス／ライツ」  
言葉の理解を目指して

リプロヘルス・ネットワーク代表  
長池 博子



新しい世紀  
の第1号の「りぷろにゅうす」を  
お送りすることをうれしく思い  
ます。どんな抱負を持って新世  
紀をお迎えだったでしょうか？  
年毎に健康であることの意  
義は高く評価されるようになって

きていますが、リプロヘルス／ライツの言葉とその内  
容はまだまだ充分理解されておられません。特に女性にと  
ってリプロヘルス／ライツは生涯の健康に関わる問題  
です。

男女共同参画社会基本法が施行され、1月6日より内  
閣府に「男女共同参画局」が発足しました。初代局長は  
板東真理子さんです。総理府時代に、婦人問題担当室、  
男女共同参画室長としてリプロヘルス／ライツに取り組  
んだ経験をお持ちの方です。改めて「リプロダクティブ  
ヘルス／ライツ」とは、女性の健康と権利の視点から、  
性の問題、妊娠、出産、中絶、避妊、不妊、性感染症など  
についてとらえ、欲しい時に、望む数の子どもを産める  
生殖機能が健康で、良い環境にあること、また受胎調節  
の正しい情報を得ることも権利の一つであることを認  
識して下さい。そして新設の男女共同参画局の活躍に  
期待すると同時に私たちも努力致しましょう。

今年はリプロヘルス・ネットワークでも知識や実践の  
交流を密にして、女性の健康づくりを推進したいと思っ  
ておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 21世紀への メッセージ

「個の確立」と  
「男女の共生」の21世紀

リプロヘルス・ネットワーク副代表  
村口 喜代



20世紀は「女  
の時代」といわれた程、女性の社  
会参加、活躍の際立った画期的  
世紀でした。『婦人』参政権、女  
性差別撤廃条約、男女雇用機会  
均等法、男女共同参画社会基本  
法…。国内外の政治の変革、主導に寄与するところが大  
きかったとはいえ、個々の女性の自覚、誇り、エネルギ  
ーの炸裂したことに因るものでした。しかし一方で、家庭、  
職場、社会での根深い男女差別の実態もさまざまな形  
で顕在化し、その本質に迫る「ジェンダー」問題につい  
ても理解・認識されるようになってきました。20世紀の  
終盤、国連主催カイロ会議で「リプロダクティブ・ヘルス  
／ライツの確立」を目指したことは、女性の健康問題を  
大きく前進させ、男女・人類を救うための注目すべき英  
断でした。

21世紀を生きるために真っ先に頭に浮かぶキーワ  
ードは、「個の確立」と、そして「男女の共生」です。それ  
は山積するさまざまな課題を大きく前進させる原動力  
となっていくでしょう。私たち「リプロヘルス」の活動も、  
セックス、避妊、妊娠、中絶、不妊、STD、出産、更年期…  
さまざまな女性の健康問題に取り組んでいくにあたって、  
いつもそのことを忘れないようにしたいものです。

# 2000年のリプロヘルス・ネットワーク およびグループ会員の活動を振り返って

## 公開りぷろサロン

おんなのからだチェック&チェック「シングル時代の性と健康」



くなった一方で、長い未婚時代は性的に早熟で活発。医療現場からは、女性のセクシュアリティの大きな変化が見えてきます。

避妊法などの発達によって、生殖と性的コミュニケーションを分離できるようになり、「性的に豊かに生きる」条件が

平均初婚年齢が年々高くなり、女性がシングルで過ごす時間が長くなる中、増え続ける若い世代の人工妊娠中絶、性感染症…。女性が自らのセクシュアリティを見つめ、人生をよりよくプログラミングするためにはどうしたらいいのか。「シングル時代の性と健康」をテーマにした「公開りぷろサロン」が昨年11月9日に開かれ、リプロヘルス・ネットワークの村口喜代副代表が産婦人科医療の現場から、シングル女性の性の現状や問題点、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ意識の重要性などについて話しました。参加者は約60人。講演内容をご紹介します。

◎

女性の生き方は多様化しています。それぞれの生き方によって、性のあり方もまたさまざまという時代になりました。結婚や妊娠を考えない女性も多

整ってきた一方で、女性の性の健康は危機的な状況にあると言っても過言ではありません。

長い未婚時代のリプロヘルスにかかわる問題として、無自覚的な性行動の結果としての人工妊娠中絶、性感染症の増加、そして子宮内膜症や月経異常、子宮筋腫、女性性器がんなど、出産回数減少などに伴う疾病の増加が挙げられます。

私たちは生まれた時から性を携え、セクシャルな存在として生きています。女性のからだの基本的な特徴は、妊娠・出産の機能を持っていること。その生殖能力をどう守っていくかが今問われています。子どもを産みたいと思ったとき、それが可能であるために、自分の性的な健康をいつも確認し、責任を持って自己管理しつつ生きることが大切なのです。

## 宮城思春期保健 「性教育授業法」

昨年11月25日、小平市立第5中学校の足田哲也先生をお招きして、市民活動サポートセンター（仙台市青葉区）においてワークショップを開催した。

参加者45名。午前10時、ギターを抱えた足田先生こと“ジョニー先生”の「どこでも行くぜ」の歌で始まり、みんなびっくりして先生に注目！この先、どれだけ人の心の中を歩いて行けるだろうか、続く線路のかなたに思う。どこでも行くぜ…凍る町から火の国まで、ギター一本小脇に抱えてどこでも行くぜ…と。

次に「明日があるさ」を一緒に歌う。この歌は何のCMに使われているか？作詞者は？有名な歌手で小柳といえば…有名なヒット曲「青い」といえば…などなど6問の「WAKAMONO OYAJI QUIZ」。ぐっと会場全体の雰囲気や和らぐ。自己紹介にあらす他己紹介インタビューと発表。授業開きとプログラムを経て、受け手を主体としたプランと導入のしかたを実感。「いかにも男性らしさ、女性らしさ」のブレインストーミング。中学生の考えた程



導研究会主催  
ナー」

度のチェック表、「男?女?自分の性について話してみよう」のVTR、ストーリーロールプレイでSTDの感染と性関係が語られ、そこからポスターセッションでSTD予防キャンペーンポスターの作成へと入っていった。

グループごとに、対象、目標、張る場所などを討議。限られた材料の中で頭と腕を振るった作品は、どのグループもさすがの出来映えだった。完成後、それぞれの企画のおすすめポイントを発表。一日が短く考えられるほど、なごやかさの中で充実した時間だった。授業者はアドバイザーに徹して、伝達型でなく生徒主体の授業を進めるという足田先生の方法は、実践の場で必ず役立つことと感じたワークショップだった。

(宮城思春期保健指導研究会・

高橋啓子)



## ヤンソン柳沢由実子さん講演会

「わたしになる!～女という個人から出発～」

2000年12月9日、エル・パーク仙台において「女たちのスペース」をつくろう会主催による「女のからだと性」特別公開講座を行いました。内容は翻訳家・評論家のヤンソン柳沢由実子さんによる講演「わたしになる!～女という個人から出発～」。

長年女性健康運動にかかわり、現在は女性性器切除廃絶の支援に力を注いでいるヤンソンさんは、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、女性健康運動の中から創り出されてきた思想で、その中で、女性たちは経済的自立とともに自分のからだを自分でコントロールする、性と生殖における自立をめざしてきた。何より産む産まないについての選択の自由・中絶の自由はリプロダクティブ・ヘルス/ライツの核となるもので、国も宗教も相手の男性も、女性の産む産まないの決定権を侵害してはならない。しかし、実際には、この権利が保障されていない国は数多くある」と話します。また、「自分のからだや性について知らない、語れない人たちはまだまだ多い。リプロダクティブ・ヘルス/ライツという新しい言葉の登場によって語り始めることができるなら、



どんどん使うべき」とも。

そして「自分のからだや性について、人生について責任ををもって生きる。自分の内なる価値観と実際の生きかたを一致させる。私が私として矛盾しない人生を生きる。それが私になるということ。始まりは私である」としめくりました。

参加者からは「リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意味がようやく理解できた」「自分を大切にすることを学んだ」「性に関する自己決定という主張を生きかたのベースにしていきたい」など、ヤンソンさんの生きかたに共感する声が多く寄せられました。

「女性の解放は人間の解放につながる」という最後のひとことに勇気づけられる思いでした。

(「女たちのスペース」をつくろう会・

宗片恵美子)

## リプロ掲示板

### リプロヘルス・ネットワーク 2000年度の活動

#### (2000年4月～2001年3月)

- 4月12日 [りぷろにゅうす3号] 発行  
21日 役員会「総会開催にあたって」
- 5月15日 2000年度総会  
《会員研修会》「働く女性の妊娠と出産」  
講師:村口喜代副代表
- 27日 2000年度第1回役員会  
「2000年度の活動について」
- 7月17日 「女たちのニューヨーク」報告会・懇親会に  
参加(事務局)
- 29日 第2回役員会  
「にゅうす発行・サロン開催について」
- 9月20日 [りぷろにゅうす4号] 発行  
30日 《りぷろサロン》「子宮をとるとのこと」  
アドバイザー:村口喜代副代表  
第3回役員会  
「公開りぷろサロン開催にあたって」
- 11月 9日 《公開りぷろサロン》  
「シングル時代の性と健康」  
講師:村口喜代副代表
- 25日 《研修会》[宮城思春期保健指導研究会]  
ワークショップ  
「健康教育に関わる人のための性教育・授業  
法セミナー」
- 27日 事務局1005号に移転
- 12月12日 《会員研修会》  
（「女たちのスペース」をつくる会特別公開講座に参加）  
「私になる」  
講師:ヤンソン柳沢由美子さん
- 21日 第4回役員会  
「りぷろサロン開催などについて」
- 〈2001年〉
- 1月10日 事務局始め
- 2月 8日 第5回役員会「2001年度の活動について」  
24日 《りぷろサロン》  
「ビルについて聞きたい、知りたい」  
アドバイザー:長池博子代表

### 【2001年度の総会】【研修会】を 開催いたします。

3月16日 [りぷろにゅうす5号] 発行  
「総会」では、リプロヘルス・ネットワークの2001年度  
の活動などについて話し合います。会員のみな様から  
の多くのご意見をお待ちいたします。また総会に引き  
続き、「会員研修会」を開催いたしますので、ぜひご参  
加ください。

- 日 時/5月22日(火) 18:30～21:00
- 会 場/エル・パーク仙台・セミナーホール  
(141ビル・5F)

#### 《研修会》

「日本女性のリプロダクティブヘルス/ライツ  
—21世紀の重要課題—」

講師:長池博子代表

◇会員のみな様には、出欠の確認と合わせてあらため  
てご案内申し上げます。

◆当日2001年度の会費納入をお願いいたします。

#### 事務局が移転しました。

これまでと同じ建物(ライオンズマンション中央)の2階2  
05号室から《10階・1005号室》に移りました。

電話番号、ファックス番号はこれまでどおりで、変更はあ  
りません。

◆移転先◆〒980-0021

仙台市青葉区中央4丁目7-25-1005

「りぷろサロン」への参加申し込みや入会などの各種お問  
い合わせはネットワーク事務局まで。

リプロヘルス・ネットワーク事務局

TEL022(227)0052

事務局から

入会の申し込みを随時受け付けています。  
会員の方には、ネットワーク会報「りぷろにゅうす」や、  
リプロヘルス・ネットワークや会員グループ主催の  
講座・催しなどのご案内をお送りいたします。入会  
資格は特にありません。女性の健康について関心のある方なら、  
どなたでも入会できますので、入会ご希望の方、詳しい内容を知り  
たい方は、事務局までご連絡ください。多くの方々のご参加をお  
待ちしております。



おいしいをデザインする  
森永乳業株式会社